

六つ星



Vol. 36

「六つ星」の名前は、点字が6つの点の組み合わせで書き表されていることに由来しています。

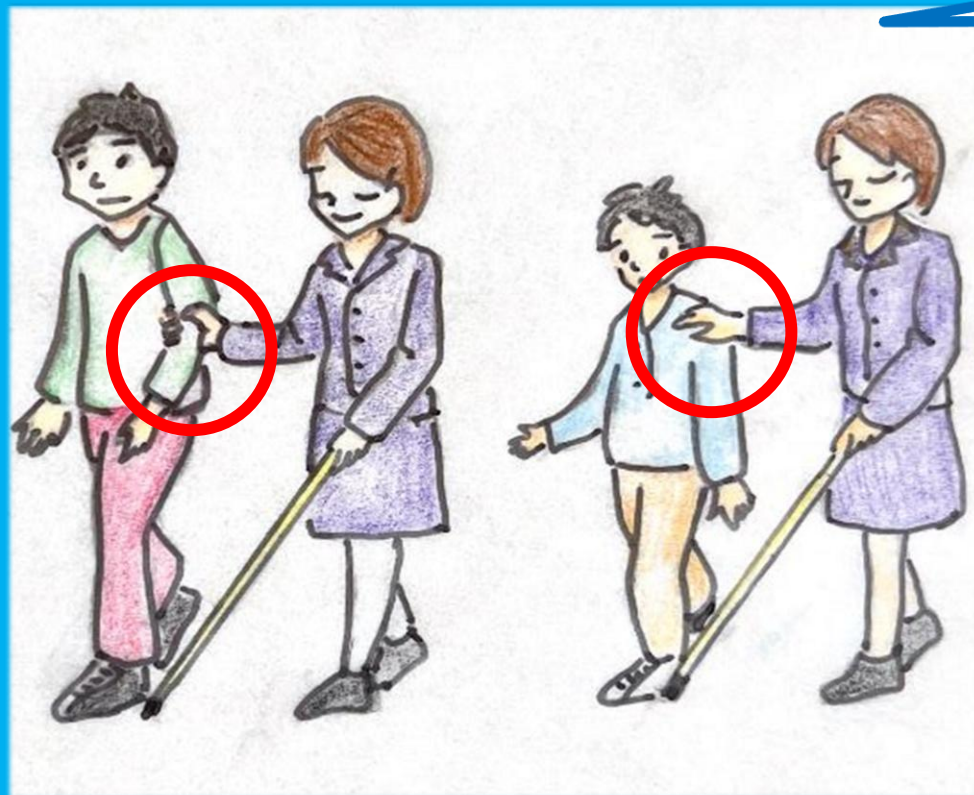
視覚に障害のある方を

誘導するとき、「手引きを しましょうか」と声をかけましょう。

ひじ上を持つ場合

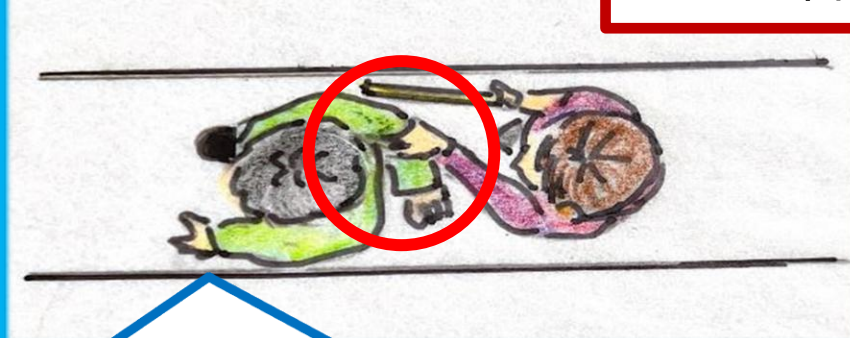
肩を持つ場合

手引きをする人は、視覚に障害がある方の半歩前を歩きます。



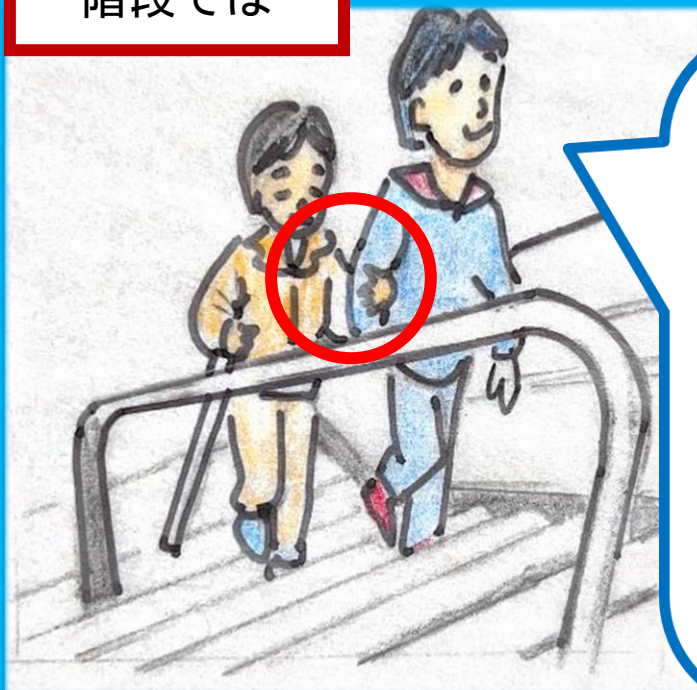
せまい所を通るときは

上からの図



「ここからせまくなります」と声をかけ、視覚に障害のある方が、手引き者の真後ろに入り、一列で歩きます。

階段では



階段の手前で必ず立ち止まり、「上り（下り）階段です」と声をかけて、つま先か白杖で一段目の位置を確認してもらい、手引きをする人は視覚に障害のある方の一段上をリズムよく上ります。終わりが近づいたら「あと●段で終わります」と言います。上り切ったら立ち止まり「終わりです」と伝えます。（小さい段差についても必ず手前でお知らせします。）